

| 今月の経済動向（平成27年8月）

● 月例経済報告/金融経済月報

	月例経済報告（内閣府・9月25日）	変化*	金融経済月報（日本銀行・9月16日）	変化*
景気基調	景気は、このところ一部に鈍い動きもみられるが、緩やかな回復基調が続いている。 先行きについては、雇用・所得環境の改善傾向が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかに回復していくことが期待される。	↓	景気は、輸出・生産面に新興国経済の減速の影響がみられるものの、緩やかな回復を続けている。 先行きについても、景気は緩やかな回復を続けていくとみられる。	→
民間消費	総じてみれば底堅い動きとなっている。	→	雇用・所得環境の着実な改善を背景に、底堅く推移している	→
設備投資	総じて持ち直しの動きがみられる。	→	企業収益が明確な改善を続けるなかで、緩やかな増加基調にある。	→
住宅投資	持ち直している。	→	持ち直している。	→
雇用	改善傾向にある。	→	緩やかな改善を続けている。	→
生産	このところ横ばいとなっている。	→	このところ横ばい圏内の動きとなっている。	↓
輸出	このところ弱含んでいる。	→	新興国経済の減速の影響などから、このところ横ばい圏内の動きとなっている	↓
国内企業物価	このところ緩やかに下落している。	↓	国際商品市況の下落を主因に、3か月前比でみて下落している。	↓
消費者物価	緩やかに上昇している。	→	0%程度となっている。	→

*前回からの変化：上方修正 ↑、下方修正 ↓、据え置き（表現変更） →

[月例経済報告：内閣府](#)

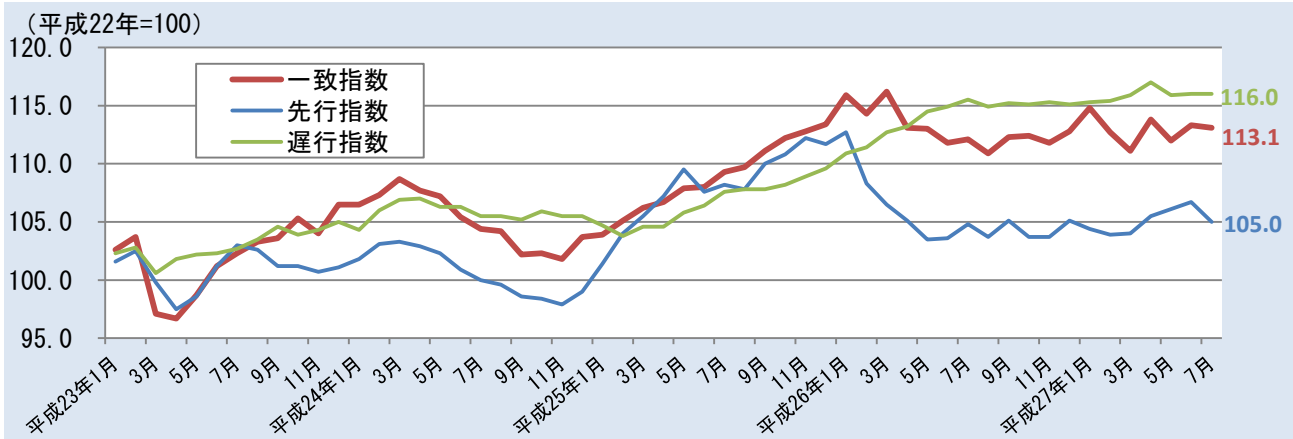
[金融経済月報：日本銀行](#)

● 景気動向指数（平成27年7月）

平成27年7月のCI一致指数（改訂値）は前月より0.2ポイント低い113.1ポイントとなり、2ヶ月ぶりに前月を下回った。CI先行指数は5ヶ月連続に低下し105.0ポイント、遅行指数は2ヶ月連続で上昇し116.0ポイントとなった。

景気の基調判断（CI一致指数）は、「足踏みを示している」を据え置いた。

・CIの推移



[景気動向指数：内閣府](#)